

部局名	財務部	所属名	財政課	所属長名	相馬 清彦	電話	483-1151 内線3310
-----	-----	-----	-----	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3513	事務事業名称	市債管理基金積立金				短縮コード	経常	臨時	3513		
予算区分	会計	01	一般会計	款	12	諸支出金	項	01	基金費	目	06	市債管理基金費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	地方自治法第241条, 八千代市市債管理基金条例								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
原資及び基金の運用から生ずる利子を積み立てる。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	06	計画推進のために					
平成18年度より回復基調にあった景気動向が、平成19年度に入り悪化傾向を示しており、基金現金の利回りが1%にも満たない状況の中で、歳出面での負担増が懸念されており、市の財政を取り巻く環境は依然として厳しい状態にある。					大項目 (節)	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進					
					中項目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立					
					小項目 (施策)	02	健全な財政運営の推進					
					細項目	03	長期的な視点に立った財政運営					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	市債管理基金						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 基金利子の積立						
	※平成20年度に計画していること: 基金利子の積立						
意図 (何を狙っているのか)	市債の償還及び市債の適正な管理に必要な財源を確保する。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市債管理基金現在高	千円	2,580	2,588	2,586	2,596
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	基金取崩額	千円	0	0	0	0
	指標2	市債管理基金積立額	千円	2	8	6	10
	指標3						
成果指標	指標1	市債管理基金現在高	千円	2,580	2,588	2,586	2,596
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3513	事務事業名称	市債管理基金積立金		所属名	財政課	
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績	計画	実績	計画		
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円				
		その他	千円	2	8	6	10
主な事業費の内訳		積立金	積立金	積立金	積立金		
人件費(B)		千円	386	385.5	388.8	388.8	
トータルコスト(A)+(B)		千円	388	393.5	394.8	398.8	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	市債償還のための財源を確保することで、長期的な視点に立った無理のない財政運営を行うことができる。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	健全な財政運営を維持するための事業であり、所期目的には将来にわたる財政運営も含まれているため。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	基金の設置は、地方自治法第241の規定に基づく専任事項であるため。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	将来を見据えた市債の償還を行うための対象・意図として適切である。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	有効性として利払負担の軽減を目的とした市債の早期償還等の処理が考えられるが、通常の償還額に加えて一時的に経費が増加するため、財源確保という課題がある。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	2			実施主体(所管部署)		
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3513	事務事業名称	市債管理基金積立金			所属名	財政課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			計画的な償還を行うことは、健全な財政運営を行っていくために不可欠であるが、そのための財源の確保が課題であり、当面の間は、早期償還等の処理は非常に困難であるため、今年度の事務事業評価では現状のまま継続とした。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>						経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基金管理の人的費は最低限必要な経費である。また、計画的な償還を行うことは、健全な財政運営を行っていくために不可欠であるが、そのための財源の確保が課題であり、当面の間は、早期償還等の処理を目的とした積立は非常に困難である。
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市債借入額の抑止に努め、将来債務を見据えた財政運営に努めてほしい。	

所属長コメント	将来の財政負担圧力を抑制し、計画的償還財源の確保を図るためには、当該基金の醸成に努めることが必要となるため、事業の意図、方向性とも適切と考える。なお、財政調整基金と同様に運用の三原則である①安全性・確実性、②有利性、③流動性の確保が必要である。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり現状のまま継続とする。